キャラクター名
鷺森　小明　　（さぎのもり　あかり）

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス モルフェウス	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	
オプショナル		年齢	22	性別	女
覚醒	渇望	衝動	妄想	初期侵食率	31 %
出自	安定した家庭	経験	大きな転機	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	1	2			5
感覚	4	0	0			4
精神	0	0	1			1
社会	2	0	0			2

HP	31
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：	4		芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
機械人形招来<ﾌﾟｯﾌｪ・ｳｪｼﾌｧｰﾄ>	白兵	6r+4		20		1+2+3 コスト7
アクセル・モード80%↑	白兵	12r+4		20		1+2+3+6　コスト13 1SL/3
トランザム100%↑	白兵	15r+4		41		1+2+3+4+5+6　コスト20　1SL/3、装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス：秘密兵器	P	N		
youtubeで流れてきた歌	P	N		
父taitasu	P	N		
望月　智治	P　好意	N　偏愛		
轟健	P　友情	N 無関心		
製造番号：046	P　庇護	N　恐怖		
	P　慈愛	N　不安		

最大財産P:　6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ：ﾓﾙﾌｪｳｽ	2	3	ﾒｼﾞｬｰ	ー	自身	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ		
効果：CL値ーLV　下限7								
ｳﾞｨｰｸﾙﾓｰﾌﾘﾝｸﾞ	5	2	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動		
効果：ロボ：攻撃15、装甲+18、全力移動50m、行動値-3								
巨匠の記憶	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	ー	ー	効果参照	ー	
効果：運転芸術・知識・情報の判定に+LVD								
クリスタライズ	5	4	ﾒｼﾞｬｰ	ー	対決	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	100↑	
効果：攻撃力LVX3、装甲無視、1SL/3								
創造の御手	2	3	MJ/RE	-	ー	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	1S/LV	
効果：組み合わせ判定ダイス+５D								
スーパーランナー	1	1	マイナー	至近	自身	-		
効果：一シーンに一回戦闘移動を行う								
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	-	-	
効果：カバーリング。行動済みでも可								
砂の祝福	1	4	オート	至近	自身	-	-	
効果：LVX10までカバーリング可								
サポートデバイス	2	6	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	-	80%↑	
効果：基本能力値の判定をＬＶＸ２ 1SL/3回								
無上厨士	★	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自動	-	-	
効果：料理上手で女子力UP								
効果：								
効果：								
効果：								

友達が欲しい。そんな当たり前の事が彼女の力を発現させた。

幼い頃から特に非日常的な出来事に巻き込まれていた訳でも一際不幸な境遇に置かれていた訳でもなかった。
ただ幼い頃から人とコミュニケーションを取るのが苦手だった。
次第に周りは彼女を「根暗」と呼び始めた。彼女の周りからは友達と呼べる人物は一人も居なくなった。
だが彼女も特別一人が好きな訳では無かった。
そんな時、周りが話していた「プラモデル作り」を試してみた。話に入りたくて。
始めて見るとこれが以外に楽しくてどんどんのめりこんだ。
彼女のお気に入りの歌手の歌を聴きながら、黙々とプラモデルを作る日々。友達が欲しいから。
気づけば作業に熱中する彼女の傍らには作った覚えの無いプラモデル達が乱立していた。
そんな折り、UGN日本支部長と名乗る男が現れた。
男は私に色々説明してくれた。
私の力が他のエージェントとは少し違う事。
私の力が誰かを助けれると言う事。
私にも仲間が出来ると言う事。
ためらう理由はなかった。
彼女はエージェントになることを決めた。まだ見ぬ大切な友達を守るために。